

香港特別行政区のグループ会社が 「サステナビリティ・リンク・ローン」契約を締結

三菱HCキャピタル株式会社(代表取締役 社長執行役員:柳井 隆博/以下、当社)のグループ会社で地域の財務統括機能を担う Mitsubishi HC Capital Management (China) Limited(Managing Director:佐藤 恵一/以下、三菱HCキャピタルMC)は、本日、株式会社三菱 UFJ 銀行(取締役頭取執行役員:半沢 淳一)の香港支店と、ローン・マーケット・アソシエーション*1などが定めたサステナビリティ・リンク・ローン原則に即した「サステナビリティ・リンク・ローン」契約を締結したことをお知らせいたします。

「サステナビリティ・リンク・ローン」とは、借り手がサステナビリティ目標と連動したサステナビリティ・パフォーマンス・ターゲット(以下、SPTs)を設定し、その達成状況に応じて、金利優遇などのインセンティブを受けることができる金融商品です。

気候変動問題がグローバルに深刻化するなか、香港特別行政区(以下、香港)においては、2050年のカーボンニュートラル達成を目標に、2035年までに、自家用自動車におけるガソリン車、ハイブリット車の新規登録をゼロに、また、香港内の消費電力のうち10%を再生可能エネルギーに移行する計画を進めています。

三菱HCキャピタルMCは、香港において、2017年にグリーンボンドを発行*2、2020年にはグリーンローン*3を締結するなど、資金調達的面においても環境負荷低減に貢献する事業活動を推進しています。

今回の契約では、香港における太陽光発電設備設置サイト数および電気自動車(EV)管理台数をSPTsに設定しています。三菱HCキャピタルMCは、その子会社である Mitsubishi HC Capital (Hong Kong) Limited(Managing Director:佐藤 恵一)を通じて、太陽光発電設備およびEV関連ファイナンスを提供、SPTsを達成することで、香港における脱炭素社会の実現に貢献していきます。また、今回設定したSPTsは、2021年12月に特定、公表した当社グループのマテリアリティの一つである「脱炭素社会の推進」に資するものであります。

なお、本契約は、香港品質保証局(Hong Kong Quality Assurance Agency)より、サステナビリティ・リンク・ローン原則への準拠、さらには、設定したSPTsの合理性について、第三者意見を取得しています。

【SPTsの概要】

当社グループのマテリアリティ	サステナビリティ・パフォーマンス・ターゲット(SPTs)
脱炭素社会の推進	2023年3月末までに、香港において太陽光発電設備設置サイト35箇所を達成
	2023年3月末までに、香港においてEV管理台数700台、全自動車管理台数に占めるEV比率5.74%を達成

当社グループは、今後とも、パートナー企業とともに、お客さまや社会の期待、ニーズに対応し、地球環境に配慮した資金調達の実行、事業の展開を通じて、脱炭素社会ならびに持続可能で豊かな未来に貢献していきます。

- *1 英国に本拠地を置く、欧州、中東、アフリカのシンジケート・ローン市場の流動性、効率性、透明性の改善を目的とした協会で、欧州、中東を中心に 60 カ国以上、700 機関以上が加盟。
<https://www.lma.eu.com/>
- *2 2017 年 12 月 15 日付 ニュースリリース(旧日立キャピタル株式会社)
「日系企業初となるアジアでの外貨建てグリーンボンド(環境債)を発行」
<https://www.mitsubishi-hc-capital.com/pdf/investors/hc/newsrelease/2017/20171215.pdf>
- *3 環境改善効果のある事業に要する資金を調達する際に受ける融資。

■本ローン契約の概要

契約締結日	2022年3月14日
貸付人	株式会社三菱UFJ銀行 香港支店
金額	500百万香港ドル(73億円相当)
期間	2年間
資金使途	運転資金

■本件に関するお問い合わせ先

三菱HCキャピタル株式会社
コーポレートコミュニケーション部
〒100-6525 東京都千代田区丸の内一丁目5番1号
TEL 03-6865-3002 (直通)

以上